

社会>公民的分野>(3) 私たちと政治>イ 民主政治と政治参加

主権者を育てる～衆院選より～〔富田林市立藤陽中学校〕

⇒参考：学習プリント

ねらい（つきたい力）

- 主権者である国民は「選挙によって選ばれた国会の代表者を通じて行動する」（憲法前文）ことを平成 26 年 12 月に実施された衆議院議員選挙を通じて考え、選挙の意味を理解する。
- 選挙の推移について関心を持ち、将来意欲的に選挙に参加しようとする意識を高める。

取組みの概要

① 投票率が低下している理由や投票率を上げるための対策について考える

- ・ 1990 年以降の衆院選の投票率の推移のグラフから、投票率が低下している理由を考える。
- ・ ベルギーやオーストラリアなど選挙で棄権すると罰則を設けている国があること等も知り、その上で、日本でも投票率を上げるためにどのような対策が必要かを考える。
→特に 20 代の若者の投票率が低い原因や対策を多面的に考察させたい。

② 選挙制度のしくみについて長所や短所を考える

- ・ 小選挙区制、大選挙区制、比例代表制それぞれの長所や短所について考える。
- ・ 比例代表選挙でのドント式による議員数の配分の仕方を知る。
- ・ それぞれの選挙のやり方に政党による有利不利が生じるため、国政選挙では 2 つの選挙を組み合わせたり、衆参でも選挙のやり方が違うことを理解する。
→学年で 4 人の代表を選ぶ選挙をする（所属クラブを政党と考える）と想定して、3 つの選挙によってどのような結果が出るか考察させたい。

③ 公職選挙法による選挙違反について知る

- ・ クイズ形式で、選挙違反かどうかを予想する。
- ・ 正解を知り、なぜそのようなルールがあるのかを考える。
→クイズ形式により生徒の興味・関心を引き出したい。

★発展★ 平成 26 年 12 月に行われた実際の衆院選では、情報を提供し、小選挙区と比例選の模擬選挙を実施した。

工夫など

- 定期的に世の中のニュースをわかりやすく解説したプリント（社会科通信）を配付し、社会に関心を持たせている。
- 日頃からプレゼンテーションソフトを利用し、さまざまな事象を視覚的にとらえさせている。

授業を終えて

- 模擬選挙やクイズなどにより、多くの生徒が選挙に対して関心を持ったようである。また、中学生として今の政治に対する厳しい目をもっていることもわかった。